

木苗県教育長 退任へ

後任池上氏(静岡文化)調整



池上重弘氏

木苗直秀県教育長(79)が3期目の任期を約2年残り、3月末で退任する意向を固めたことが25日、関係者への取材で分かった。県は、後任に静岡文化芸術大学教授で同大英語・中国語教育センター長の池上重弘氏(59)を充てる方向で調整している。県議会2月定例会に人事案を追加提出すると

みられる。

池上氏は札幌市出身。県立大短期大学部専任講師などを経て2001年から静岡文化芸術大に勤務し、08年から同大教授。専門は文化人類学、多文化共生政策。県総合教育会議に向けた川勝平太知事の諮問機関「地域自立のための『人づくり・学校づくり』実践委員会」副委員長を務める。同委員会で「才徳兼備の人づくり小委員会」委員長として、県の高校教育の在り方に関する報告書のまとめにも携わる。

木苗氏は沼津市出身。09

年3月〜15年3月に県立大 学長を務め、同5月に県教育長に就任した。スクール・サポート・スタッフの配置やグローバル人材育成基金創設、学習支援を行う「しずおか寺子屋」設置などに取り組んだ。木苗氏は25日、静岡新聞社の取材に退任に関する発言は避けたが、「(年齢的に)もうそろそろというのもあるし、今は時代が変わってきている」と述べ、県の次期総合計画や教育振興基本計画の策定を終える夕

イメージで退く意向をにじませた。川勝知事は「人事」とした。案件のため説明は控える